学校教育日標

共に学び合う児童の育成



- ·日本国憲法
- ·教育基本法
- ·学校教育法
- ·第4期千葉県教育 振興基本計画 「人生をしなやかに 切り拓き、千葉の未来 を創る「人」の育成
- 新木更津プラン 「自立する力と 共生する姿勢」

-校内研究-研究主題 「主体的に取り組む 児童の育成」

勇気・本気・元気

経営の方針

- ①適切な言葉かけや評価を重視し、児童の自己肯定感を高める
- ②教師が働き方を振り返り、組織の一人として教育活動を進める
- ③教育の環境を整え、家庭・地域と連携し児童の人間形成に努める
- ④学校評価の反省から,重点目標を設定し,組織的な活動を進める

理念

- ・本校教育の目的 「学びを通した 人間形成」
- ・理想とする学校の姿
- 「安心・安全な学校」
- ・学校教育目標の主旨 「人間として調和の

とれた児童」

重点指導目標

児童のやる気を刺激する ~褒める・励ます・認める~



/ 目指す児童像

目指す教師像

重大交通事故 0 件 重大学校事故 0 件

- ○毎日通いたくなる学校
- ○豊かな情操を育む学校
- ○家庭や地域に信頼される学校
- 徳 ○思いやりのある子(勇気)
- 知 〇本気で学ぶ子(本気)
- 体 ○たくましい子(元気)
- 働き方改革(超過45h/月以内)
- ○児童に寄り添い,自己肯定感を育む教師
- ○和を大切にする人間性豊かな教師
- ○自己の資質・能力向上を図る教師

共感的理解と肯定的な言葉かけを重視した教育実践を通して

- 気持ちのよい挨拶をする(自立)
- ・互いの人権を大切に,支え合う(共生) 自己肯定感をもち,主体的に活動する
 - (中学年重点)
- 自ら学び,考え,解決する(自立)
- ・互いに学び合い、共に成長する(共生) ・望ましい学習習慣を育み、進んで 家庭学習・読書をする(自立)
 - (高学年重点)
- ・規則正しい生活を送る(自立) ・運動に親しみ、目的をもって取り 組む (自立)
- ・挑戦し,互いを高め合う(共生) (低学年重点)

「児童の心に寄り添って」

- ①温かな学級づくり 共感的理解と肯定的な言葉かけ
- (困ったときに相談できる先生がいる 80%)
- ②道徳教育の推進
- ③教育相談活動の充実

(毎月の「心の健康点検」)

- ④福祉教育の充実
- ⑤人間関係づくりの場を工夫
- ⑥SDGs教育の推進
- ⑦情報モラルの高揚

「本気で指導」

- ①授業カアップで意欲・学力の向上
- ②個に応じた指導の充実
- ③キャリア教育の視点からの指導
- ④生徒指導の機能を生かした
- 学級経営と授業の実践
- ⑤特別支援教育の充実
- ⑥家庭学習の習慣化
- ⑦読書活動の充実
- ®ICT機器を活用した授業の推進

「たくましい心と体」

- ①正課時体育のシステム化と充
- 実(目標の明確化と適切な評価)
- ②体力向上を図る
 - (運動能力証合格率上昇)
- ③健康教育・食育の推進
- (早寝・早起き・朝ごはん運動の推進)
- ④安全指導と安全管理の徹底
- (実践的な避難訓練の実施)

ライアングル子育て運動

学校·行政

家庭

- ①PTA活動との連携 ②生活リズムづくり
- ③読書のすすめ 4)交通安全·不審者対策
- ⑤関係団体との連携



地域社会

- 令和7年度 数值目標 (木更津システム抜粋) -児童自己評価-
- ・毎月の読書70%(57%) ・担任と会話70%(60%)
- ·家庭学習 30%(20%)
- ·学校満足度95%(90%)
- ※()内の数値は、 令和6年度 | 月の集計